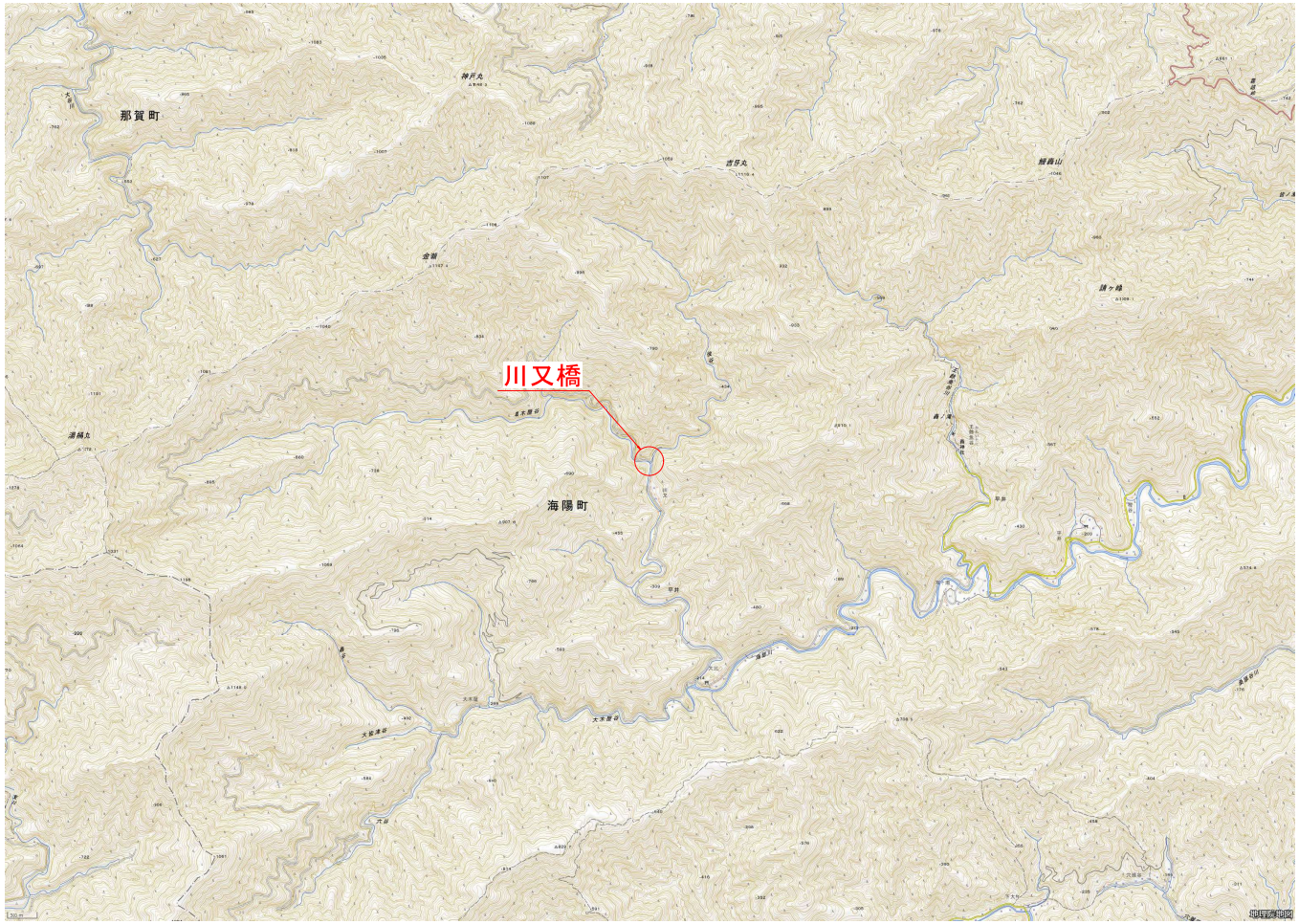
橋梁位置図 S=1:25000

（川又橋）



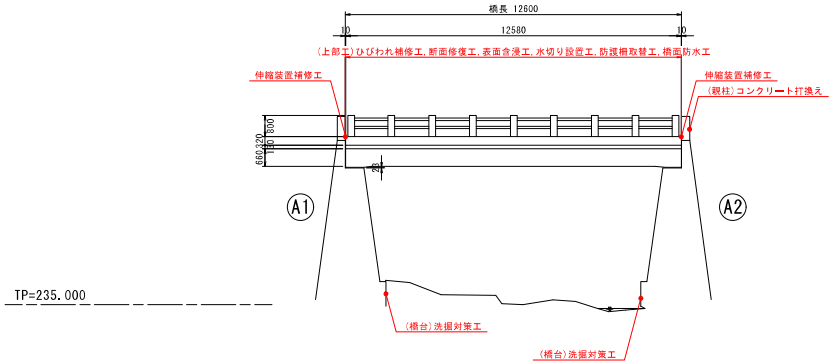
出典：国土地理院発行2.5万分の1地形図 電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成

【川又橋】

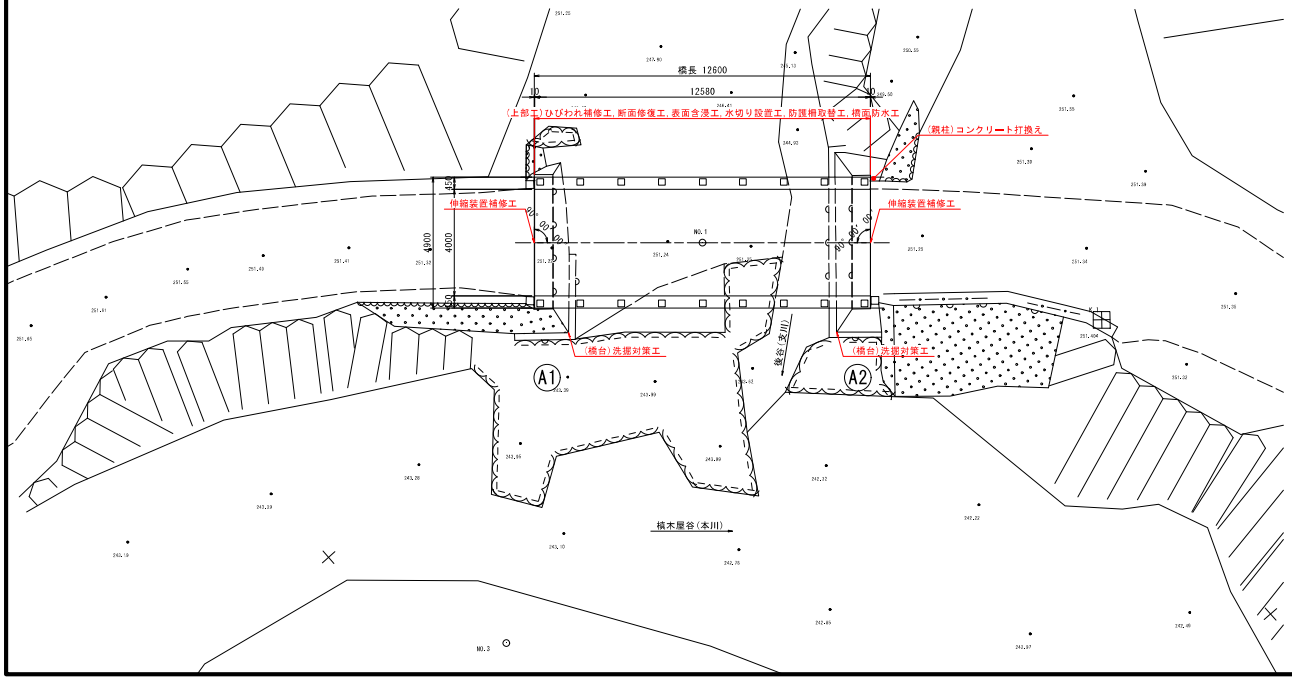
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道川又大比線		
工事箇所	海陽町平井字川又		
図面名	橋梁位置図		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

補修一般図 S=1:100
（川又橋）

側面図

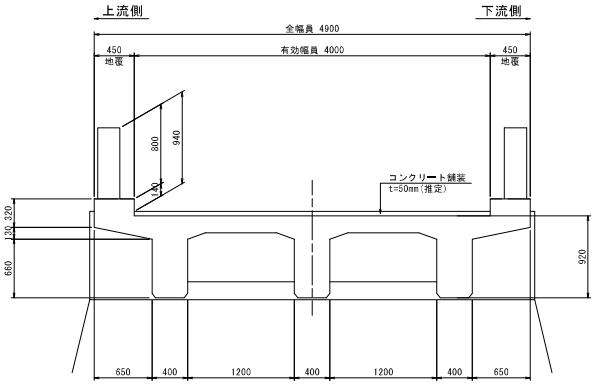


平面図

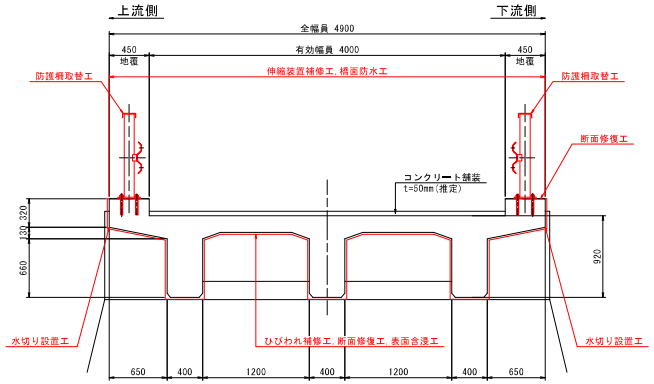


上部工断面図 S=1:30

補修前



補修前



基本条件	
路線名	町道川又大比線
架橋位置	徳島県海部郡海陽町平井字川又
橋梁名	川又橋
交差条件	河川
供用開始	1948年（推定）
適用示方書	昭和19年
耐荷重	---
占用物件	なし
構造概要	
橋長	12.60m
桁長	12.58m
斜角	90° 00′ 00″
幅員構成 全幅員	4.90m
幅員構成 有効幅員	4.00m（両側地覆W=0.45m）
構造形式 上部工形式	単純RCT桁橋
構造形式 下部工形式	半重力式橋台
構造形式 基礎工形式	直接基礎
構造形式 舗装	コンクリート舗装 t=50mm（推定）
補修工事及び点検履歴	
点検履歴	2021年：定期点検
点検履歴	2016年：定期点検

【補修工法一覧表】

項目	補修工法	対象部材
上部工補修	ひびわれ補修工	主桁，横桁，床版
	断面修復工	主桁，横桁，床版，地覆部
	表面含浸工	主桁，横桁，床版，地覆部
	水切り設置工	床版

項目	補修工法	対象部材
下部工補修	洗掘対策工	A1，A2橋台基礎部

項目	補修工法	対象部材
付属物補修	伸縮装置補修工	伸縮部
	防護柵取替工	防護柵
	橋面防水工	橋面
	コンクリート打換え工	親柱

【川又橋】

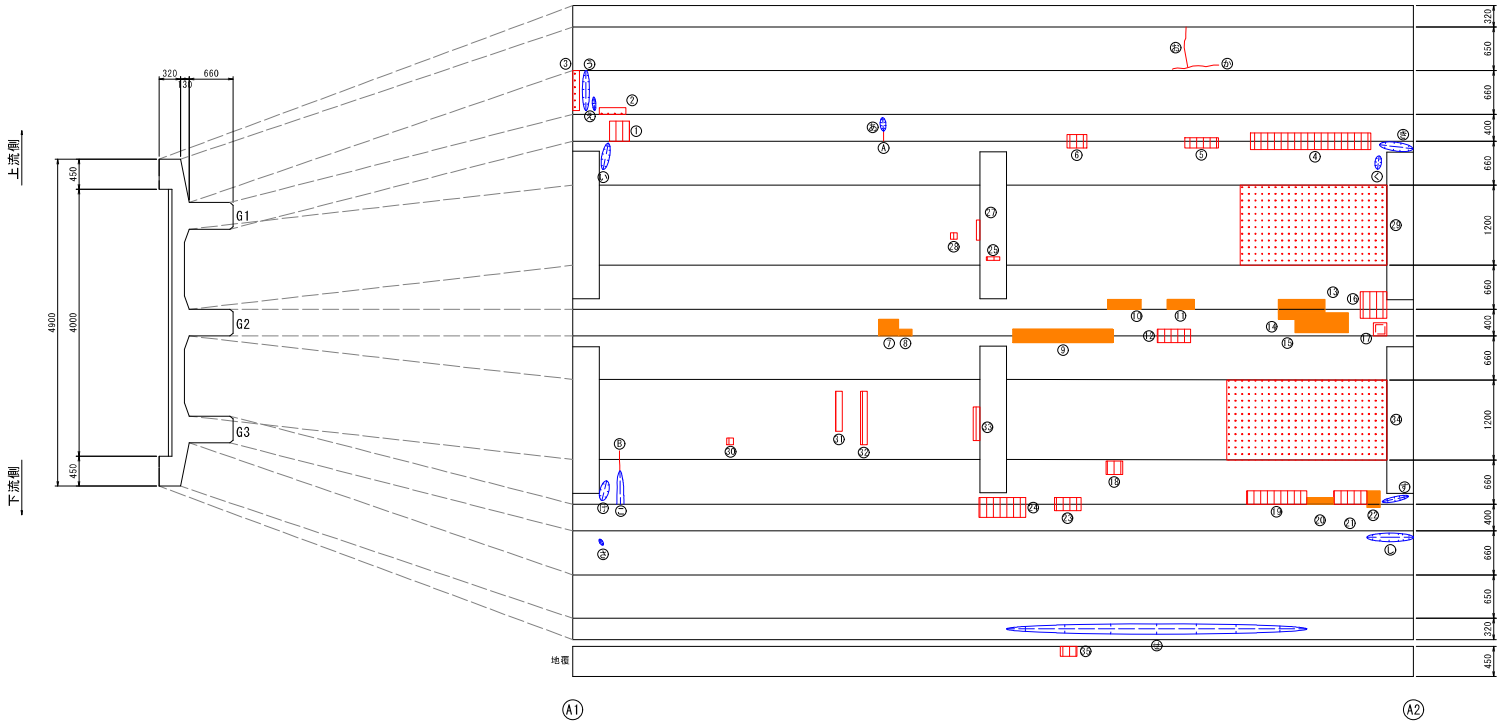
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務
路線名等	町道川又大比線
工事箇所	海陽町平井字川又
図面名	補修一般図
縮尺	1:100　図面番号　2 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター

上部工補修詳細図（その1） S=1:40

（川又橋）

ひびわれ注入工，ひびわれ充填工，断面修復工

横桁0203
端横桁（A2）



ひびわれ注入工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】
主桁0101	A	ひびわれ	0.2	150
主桁0301	B	ひびわれ	0.5	300

ひびわれ充填工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】
主桁0101	あ	遊離石灰	—	200
主桁0101	い	遊離石灰	—	400
主桁0101	う	遊離石灰	—	650
主桁0101	え	遊離石灰	—	200
主桁0102	お	ひびわれ	1.0	600
主桁0102	か	ひびわれ	1.0	700
主桁0102	き	遊離石灰	—	500
主桁0102	く	遊離石灰	—	200
主桁0301	け	遊離石灰	—	300
主桁0301	こ	遊離石灰	—	500
主桁0301	さ	遊離石灰	—	100
主桁0302	し	遊離石灰	—	700
主桁0302	す	遊離石灰	—	400
地覆0201	せ	遊離石灰	—	4500

断面修復工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】	深さt【mm】	面積A【m2】	体積V【m3】
主桁0101	1	鉄筋露出，空洞	300	300	90	0.0900	0.008
主桁0101	2	豆板	400	100	90	0.0400	0.004
主桁0101	3	豆板	100	600	90	0.0600	0.005
主桁0102	4	鉄筋露出	1800	250	90	0.4500	0.041
主桁0102	5	鉄筋露出	500	150	90	0.0750	0.007
主桁0102	6	鉄筋露出	300	200	90	0.0600	0.005
主桁0201	7	うき	300	250	90	0.0750	0.007
主桁0201	8	うき	200	100	90	0.0200	0.002
主桁0202	9	うき	1500	200	90	0.3000	0.027
主桁0202	10	うき	500	150	90	0.0750	0.007
主桁0202	11	うき	400	150	90	0.0600	0.005
主桁0202	12	鉄筋露出	500	200	90	0.1000	0.009
主桁0202	13	うき	700	200	90	0.1400	0.013
主桁0202	14	うき	250	100	90	0.0250	0.002
主桁0202	15	うき	800	300	90	0.2400	0.022
主桁0202	16	鉄筋露出	400	400	90	0.1600	0.014
主桁0202	17	剥離	200	200	90	0.0400	0.004
主桁0302	18	鉄筋露出	250	200	90	0.0500	0.005
主桁0302	19	鉄筋露出	900	200	90	0.1800	0.016
主桁0302	20	うき	100	400	90	0.0400	0.004
主桁0302	21	鉄筋露出	200	500	90	0.1000	0.009
主桁0302	22	うき	250	200	90	0.0500	0.005
主桁0302	23	鉄筋露出	400	200	90	0.0800	0.007
主桁0302	24	鉄筋露出	700	300	90	0.2100	0.019
横桁0202	25	鉄筋露出	200	50	90	0.0100	0.001
横桁0203	26	鉄筋露出	300	150	90	0.0450	0.004
床版0201	27	鉄筋露出	300	50	80	0.0150	0.001
床版0201	28	鉄筋露出	100	100	80	0.0100	0.001
床版0202	29	豆板	2200	1200	80	2.6400	0.211
床版0301	30	鉄筋露出	100	100	80	0.0100	0.001
床版0301	31	鉄筋露出	600	100	80	0.0600	0.005
床版0301	32	鉄筋露出	800	100	80	0.0800	0.006
床版0301	33	鉄筋露出	500	100	80	0.0500	0.004
床版0302	34	豆板	2400	1200	80	2.8800	0.230
地覆0201	35	鉄筋露出	250	150	50	0.0375	0.002

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		鉄筋露出		豆板	

【川又橋】

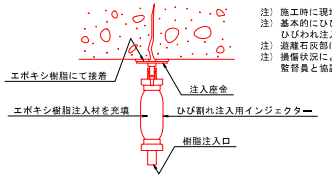
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道川又大比線		
工事箇所	海陽町平井字川又		
図面名	上部工補修詳細図（その1）		
縮尺	1:40	図面番号	3 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

上部工補修詳細図(その2)

(川又橋)

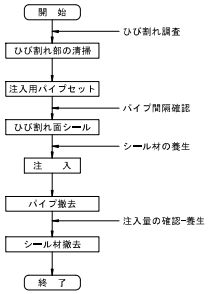
ひびわれ注入工,ひびわれ充填工,断面修復工

ひびわれ注入工詳細図



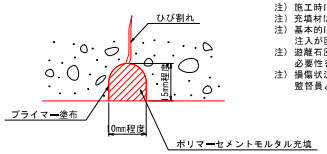
注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 基本的にひび割れ幅0.2～1.0mm以下を対象に
ひびわれ注入による補修とする。
注) 遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修すること。
注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、
監督員と協議の上、最終決定すること。

〔ひび割れ注入工法の施工要領〕



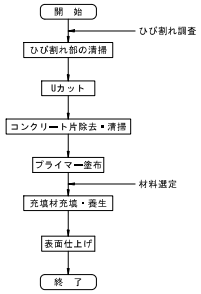
ひびわれ充填工法詳細図

(Uカット工法)

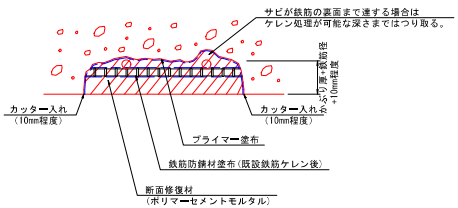


注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 充填材は、ポリマーセメントモルタルとする。
注) 基本的にひび割れ幅1.0mm以上及び遊離石灰等で
注入が困難な箇所を対象とする。
注) 遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修の
必要性を判断すること。
注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、
監督員と協議の上、最終決定すること。

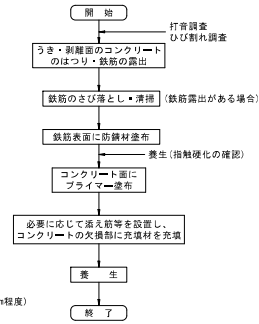
〔Uカット工法の施工要領〕



断面修復工詳細図



〔断面修復工法の施工要領〕



注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
注) 補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
注) はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
注) 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の組骨材寸法程度まで除去する。(10～20mm程度)
注) はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。
注) コテ等で下地に3～5mm厚みでしごき塗りを行い、1回の塗厚20mm程度で塗り重ねていくこと。

【川又橋】

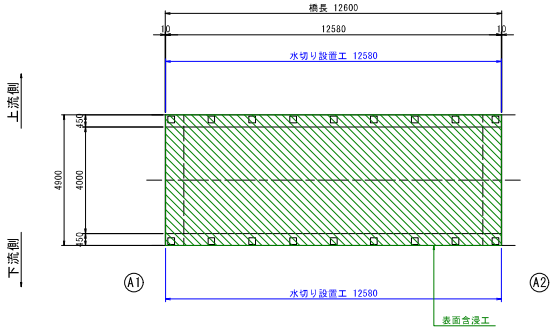
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道川又大比線		
工事箇所	海陽町平井字川又		
図面名	上部工補修詳細図(その2)		
縮尺	-	図面番号	4 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

上部工補修詳細図（その3） S=1:100

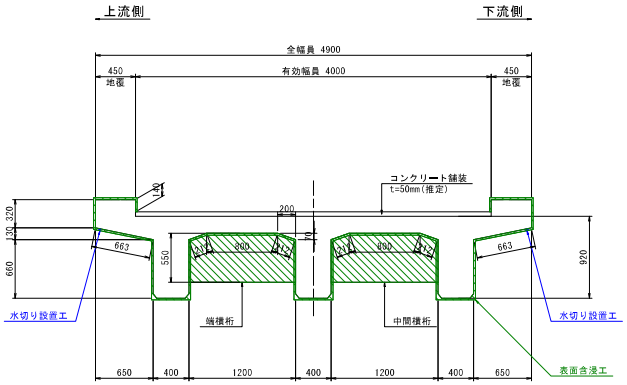
（川又橋）

表面含浸工，水切り設置工

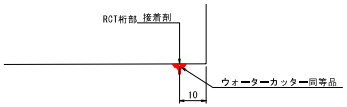
平面図



断面図 S=1:30



水切り設置詳細図

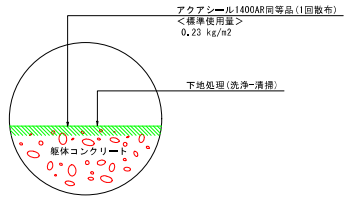


注）地覆側面からの漏水対策として、下面側へ水が流入しないように水切りを設置する。
注）施工手順について、接着性の観点から水切り設置を行った後に表面保護工の施工をすること。
（水切り設置 → 表面保護工）
注）本計画では水切り製品の「ウォーターカッター」を参考に示す。
注）「ウォーターカッター」同等品以上の水切りを設置すること。

表面含浸工詳細図

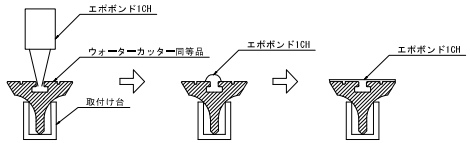
（シラン系表面含浸材）

【対象：桁下面および地覆部】



※下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、
著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについては
高圧洗浄やディスクサンダーケレンによって除去・清掃すること。
※含浸工は、「アクアシール1400AR」を参考に示すが、
別塗製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従順すること。
※アクアシール1400ARはm2当たり0.23kgの1回散布とする。

橋梁桁端部水切り材



材料表

名　称	寸　法	重　量	材　質
ウォーターカッター同等品	W25xH20xL1000	80g/m	EPDMゴムスポンジ（ライトグレー）

【川又橋】

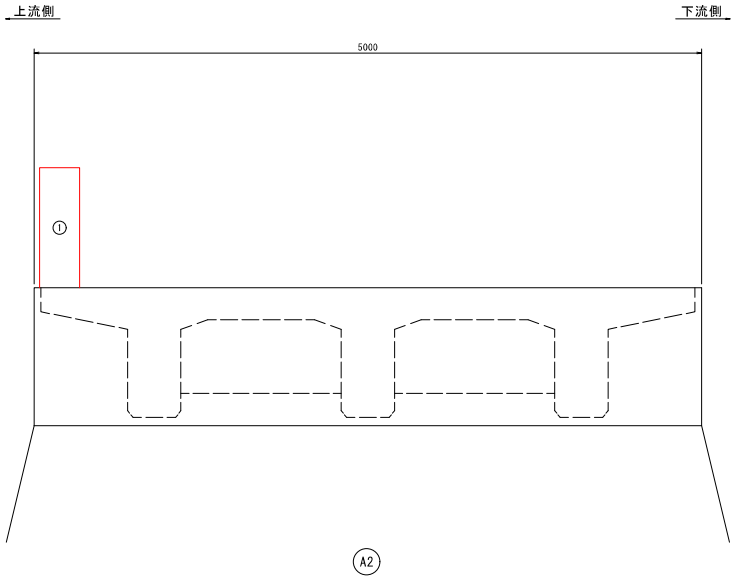
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道川又大比線		
工事箇所	海陽町平井字川又		
図面名	上部工補修詳細図（その3）		
縮尺	1:100	図面番号	5 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

下部工補修詳細図（その1） S=1:20

（川又橋）

コンクリート打換えエ

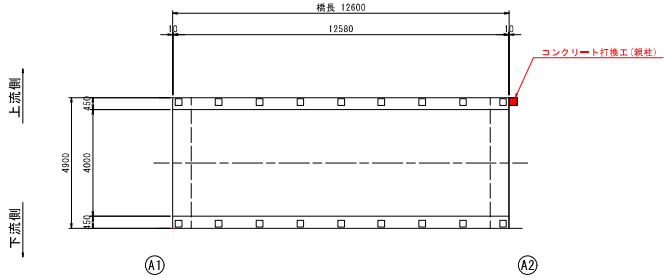
正面図



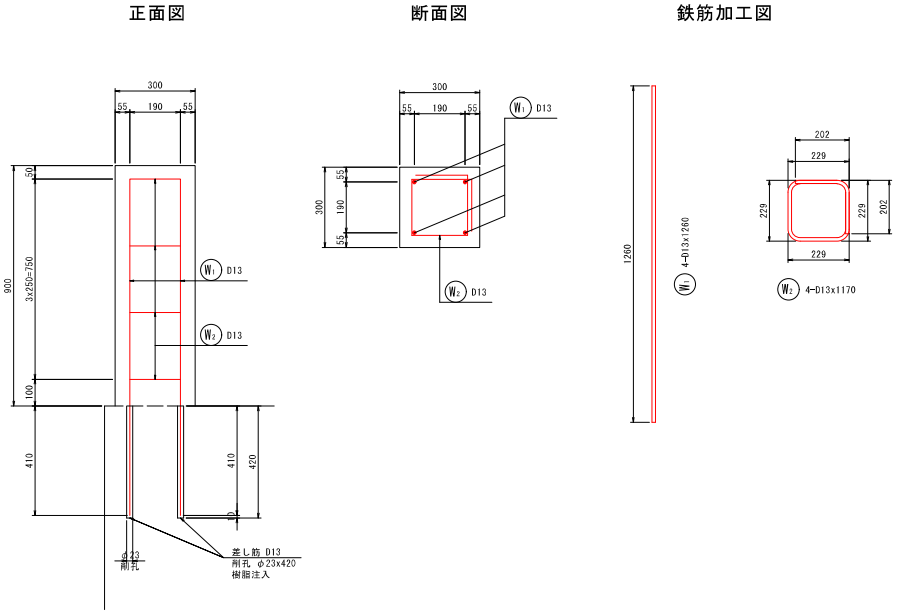
コンクリート打換えエ

部材名称	箇所	種別	幅 【mm】	奥行き 【mm】	高さ 【mm】	体積V 【m3】
地覆0101(親柱)	1	側壁	300	300	900	0.081

平面図 S=1:100



親柱詳細図 S=1:10



鉄筋質量表(SD345)

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
W1	D13	1260	4	0.995	1.25	5	
W2	D13	1170	4	0.995	1.16	5	
						10	
合 計	D13		10 kg				
総質量			10 kg				

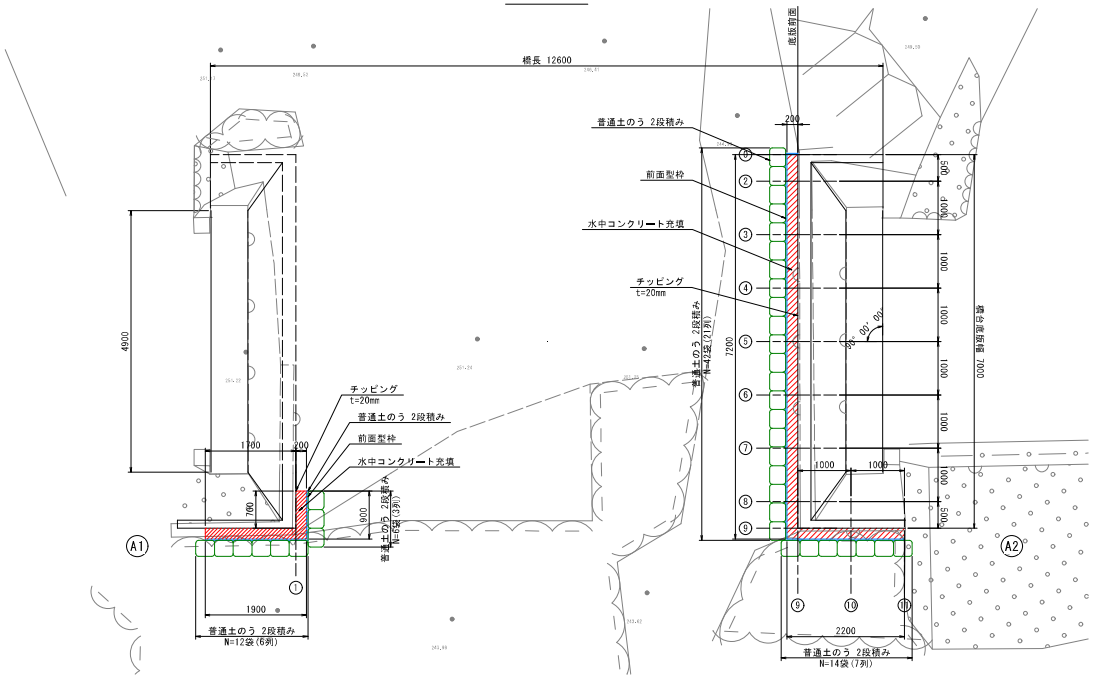
【川又橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道川又大比線		
工事箇所	海陽町平井字川又		
図面名	下部工補修詳細図(その1)		
縮尺	1:20	図面番号	6 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

下部工補修詳細図（その2） S=1:50

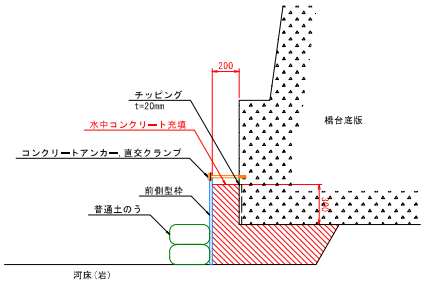
（川又橋）
根固工

平面図



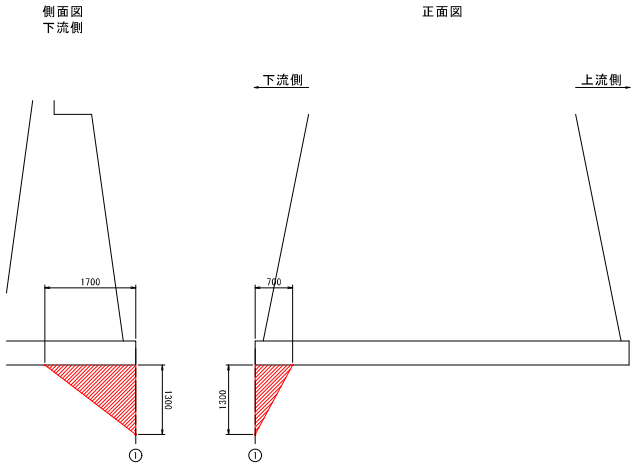
注）現地にて洗掘範囲部の実測を行い、施工を行うこと。

根固工詳細図 S=1:20

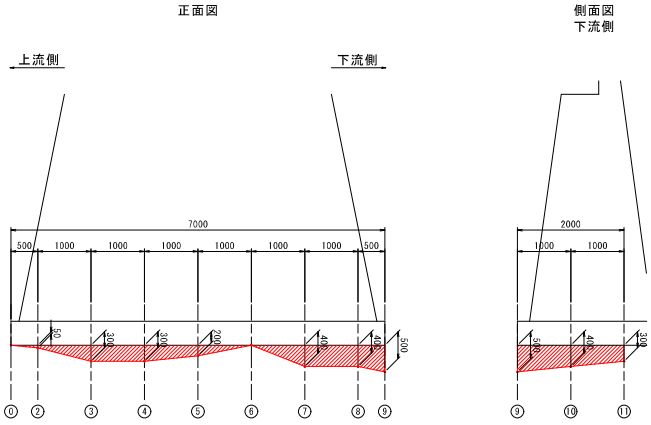


対策範囲詳細図

［A1橋台］



［A2橋台］



A2橋台根固工

	距離 【mm】	高さ 【mm】	奥行き 【mm】	突出幅 【mm】	断面積 【mm2】	体積 【mm3】
⓪	---	0.000	0.000	0.200	---	---
②	0.500	0.050	0.100	0.200	0.006	0.003
③	1.000	0.300	0.900	0.200	0.123	0.123
④	1.000	0.300	1.100	0.200	0.360	0.360
⑤	1.000	0.200	0.450	0.200	0.244	0.244
⑥	1.000	0.000	0.000	0.200	0.043	0.043
⑦	1.000	0.400	0.800	0.200	0.120	0.120
⑧	1.000	0.400	0.800	0.200	0.400	0.400
⑨	0.500	0.500	0.800	0.200	0.450	0.225
⑩	1.000	0.400	0.400	0.200	0.360	0.360
⑪	1.000	0.300	0.200	0.200	0.175	0.175
					合計	2.052

注）断面積は直前測点との平均値とする。

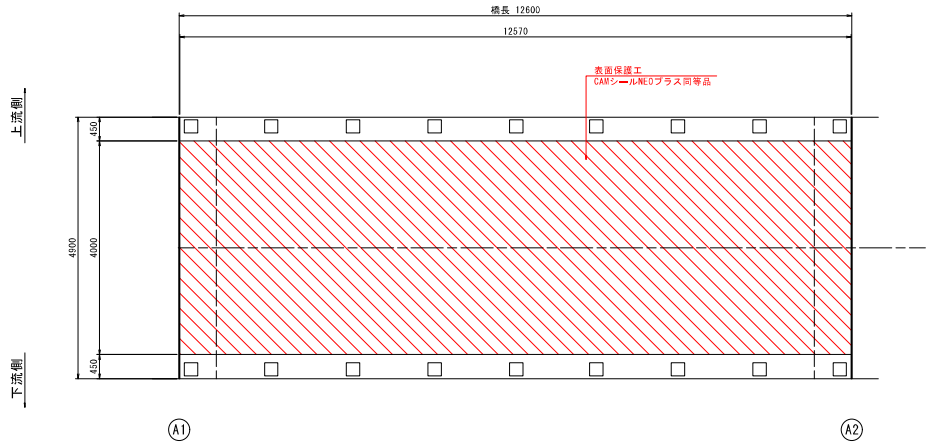
【川又橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道川又大比線		
工事箇所	海陽町平井字川又		
図面名	下部工補修詳細図（その2）		
縮尺	1:50	図面番号	7 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

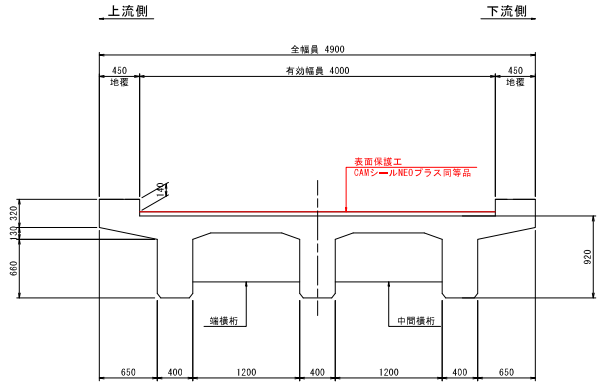
橋面補修詳細図 S=1:50

（川又橋）

平面図



上部工断面図 S=1:30

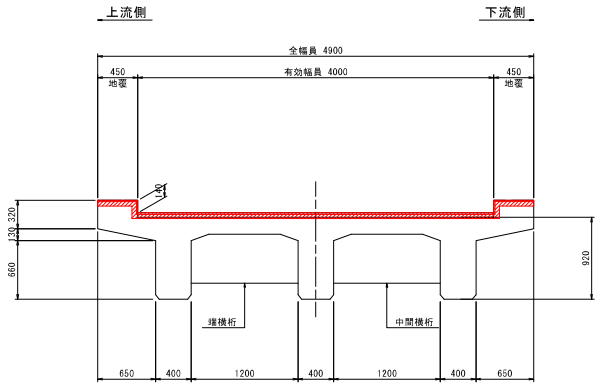


【川又橋】

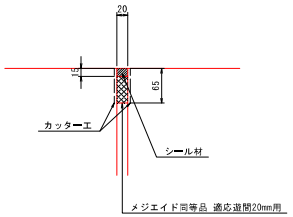
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道川又大比線		
工事箇所	海陽町平井字川又		
図面名	橋面補修詳細図		
縮尺	1:50	図面番号	8 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

伸縮装置補修詳細図 S=1:30
（川又橋）

上部工断面図

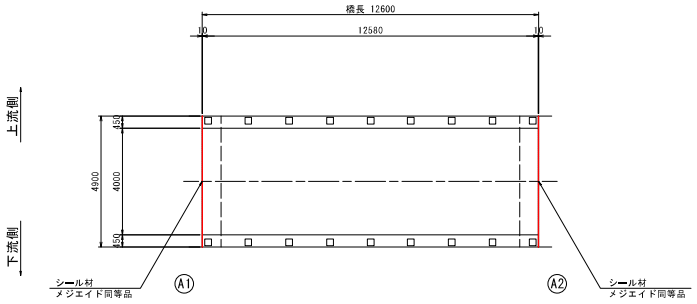


遊間処理断面図 S=1:5



注1）仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
注2）既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。
注3）カッターエは現況の遊間で設置できない場合に適用すること。

平面図 S=1:100



設計条件

名称	A1橋台	A2橋台
温度範囲	-5℃～+35℃	-5℃～+35℃
温度変化伸縮量	2.50mm	0.00mm
常時設計伸縮量	17.20mm	17.20mm
地震時移動量	-	-

注）支承条件が不明であるため、常時設計伸縮量については算出した値の最大値を示す。

数量表

名称	品名また仕様	単位	数量	備考
施工延長	-	m	10.360	
シール材	シリコン系	m	10.360	使用量 3.108L
止水材	メジエイド同等品（適用遊間20mm用）	m	10.360	

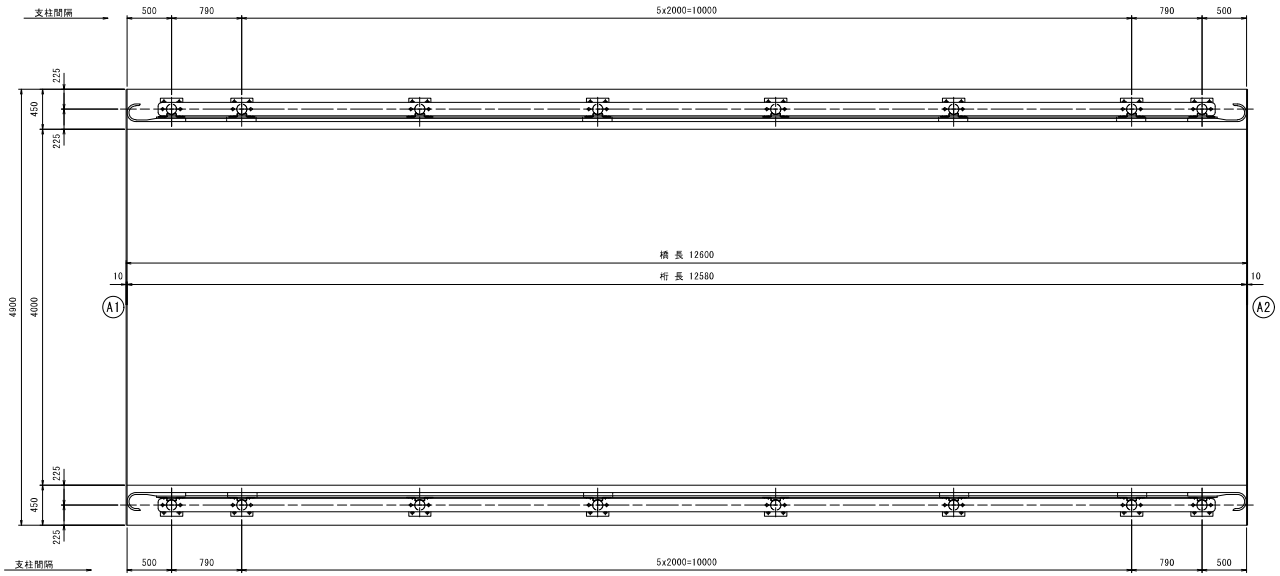
【川又橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道川又大比線		
工事箇所	海陽町平井字川又		
図面名	伸縮装置補修詳細図		
縮尺	1:30	図面番号	9 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

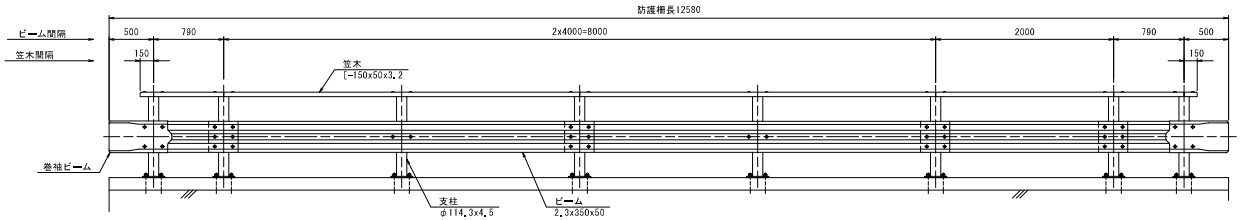
防護柵取替工詳細図（その1） S=1:30

（川又橋）

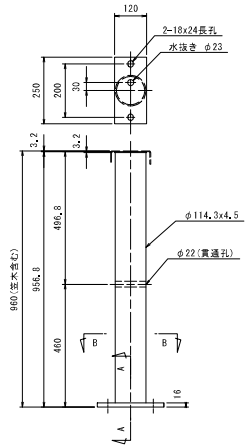
平面図



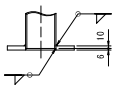
正面図



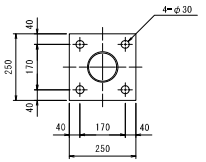
支柱 S=1:10



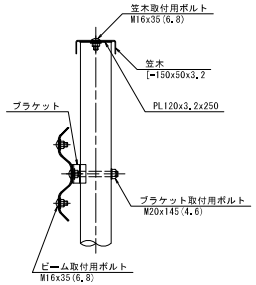
A-A 断面図



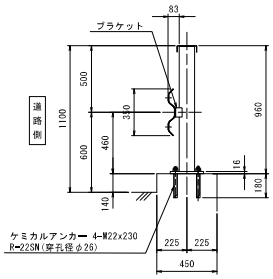
B-B 断面図



取付詳細図 S=1:10



断面図 S=1:20



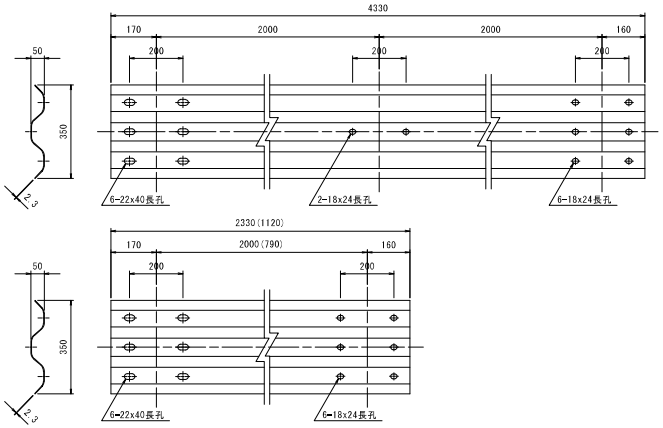
【川又橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道川又大比線		
工事箇所	海陽町平井字川又		
図面名	防護柵取替工詳細図（その1）		
縮尺	1:30	図面番号	10 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

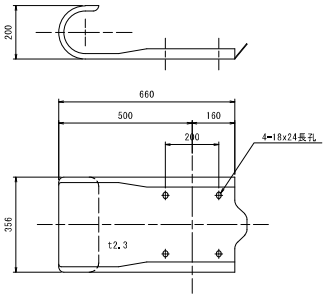
防護柵取替工詳細図(その2) S=1:10

(川又橋)

ビーム

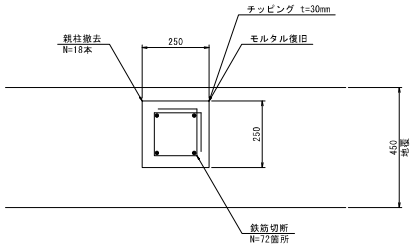


巻袖ビーム

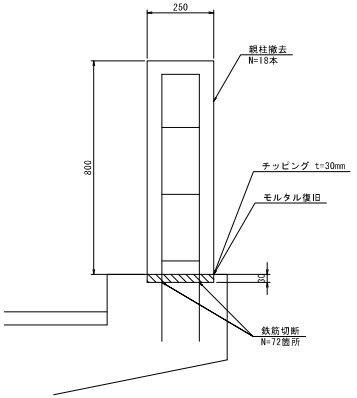


既設防護柵撤去図

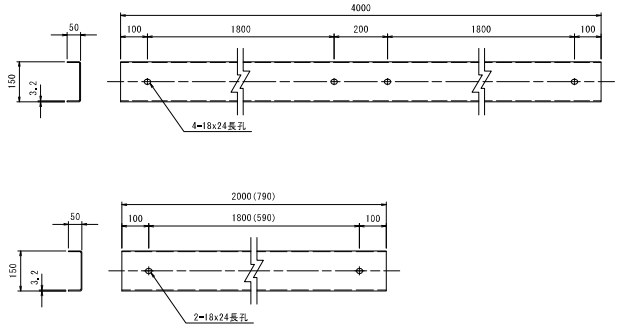
平面図



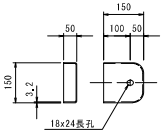
断面図



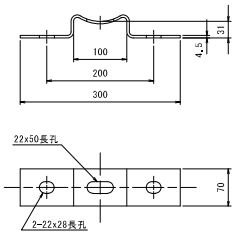
笠木



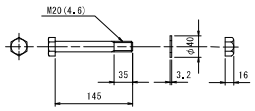
端部笠木



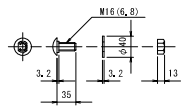
ブラケット S=1:5



ブラケット取付用ボルト S=1:5



笠木・ビーム取付用ボルト S=1:5

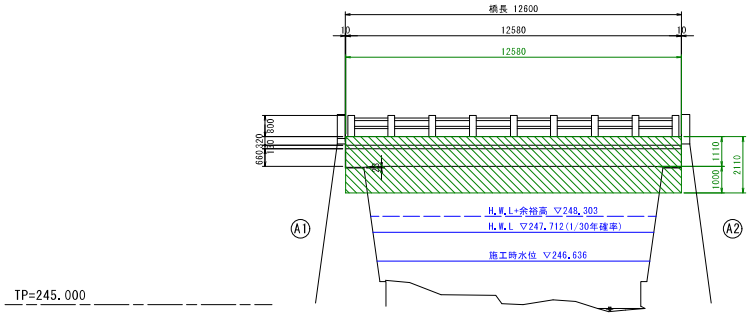


【川又橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道川又大比線		
工事箇所	海陽町平井字川又		
図面名	防護柵取替工詳細図(その2)		
縮尺	1:10	図面番号	11 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

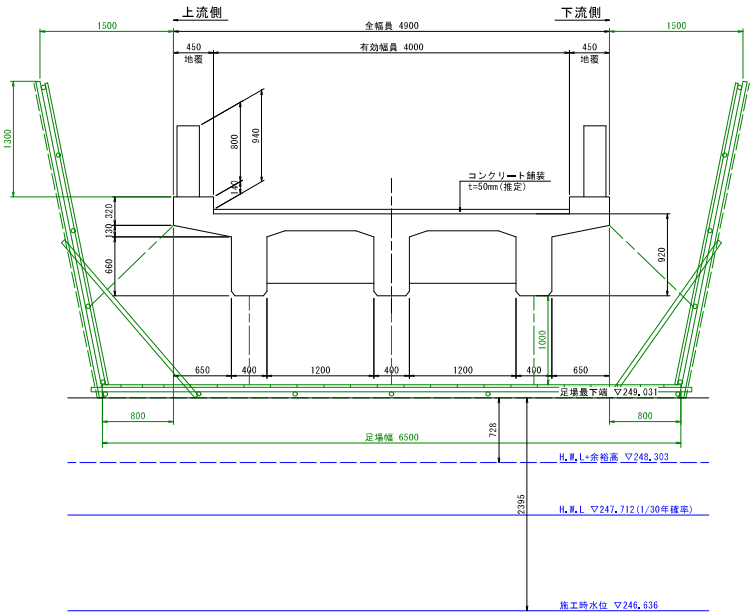
施工計画図 S=1:100
（川又橋）

側面図



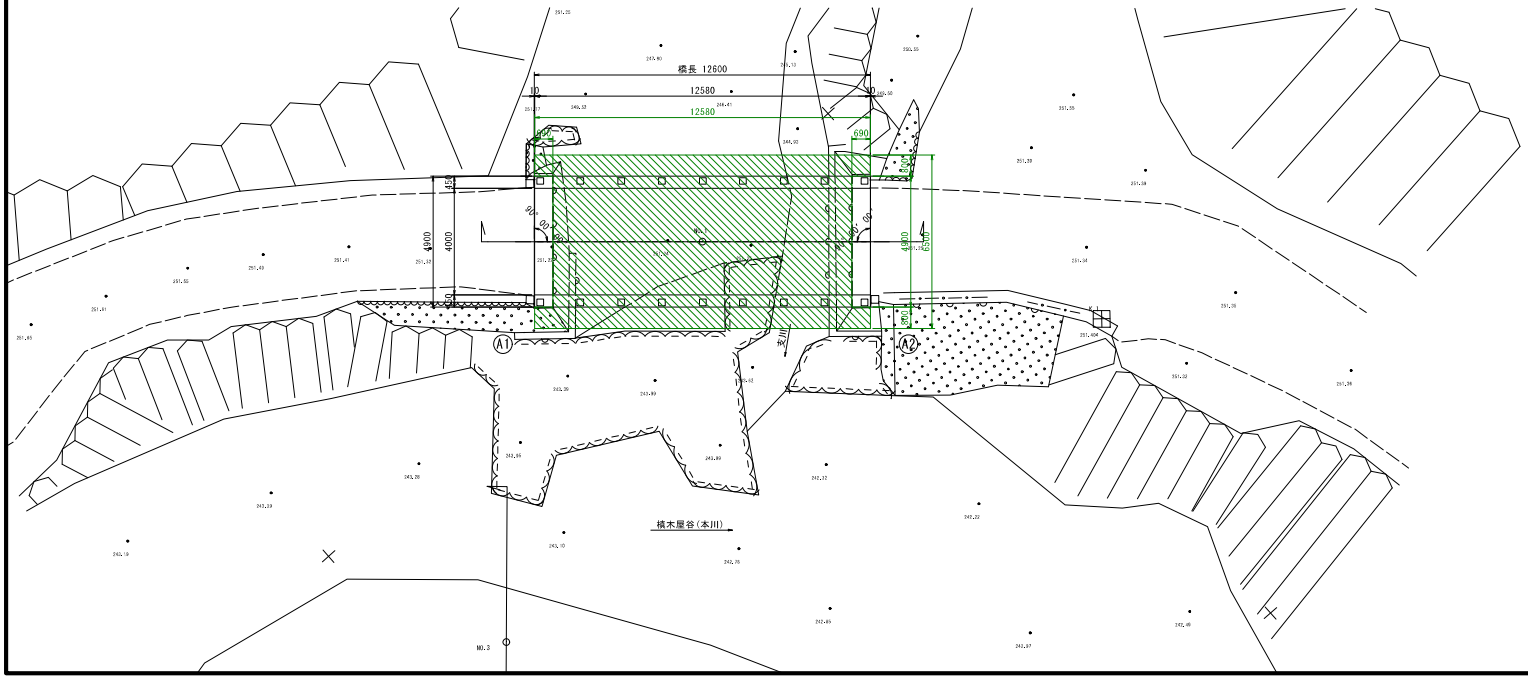
注)H.W.Lおよび施工時水位について、根固工を考慮した断面で算出した。

上部工断面図 S=1:30



注)H.W.Lおよび施工時水位について、根固工を考慮した断面で算出した。

平面図



【川又橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道川又大比線		
工事箇所	海陽町平井字川又		
図面名	施工計画図		
縮尺	1:100	図面番号	12 / 12
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		